

令和5年度  
社会福祉法人長和会事業実績  
(特別養護老人ホーム恵光園・グループホームさくらの里)

1 運 営

「利用者に寄り添う温もりに満ちた介護」を柱とし、全職員参加による各計画の実行、利用者の方々が日々健康で安心した心豊かな生活ができ、自立に向け生きがいをもって生活されるよう援助すると共に特色ある専門性並びに質の高いサービスの提供を心掛けた。

2 介護業務

以下の取り組みを実施

(1) 処遇の充実

- (ア) 利用者の寝たきり防止。
- (イ) 利用者のケアプランの充実。
- (ウ) マニュアルに沿った業務の推進。
- (エ) 三大処遇（食事・入浴・排泄）の充実及び徹底。
- (オ) 重度化及び認知症対策の強化。
- (カ) ユニットケア（24時間シートの充実）の特色を活かした施設生活の確立。

(2) 生活意欲の高揚

- (ア) 行事活動は、感染対策により規模が縮小したものの、家族・ボランティア・地域住民等の参加を促し利用者家族・地域との絆を強め心豊かな生活を目指した。
- (イ) 趣味活動は、利用者の自主性を尊重し、読書・書道・スケッチ等の幅広い趣味活動の充実に努めた。
- (ウ) 生活総合機能改善機器の有効活用。

(3) リハビリの励行

- (ア) 利用者全員のリハビリ活動の充実に努めた。
- (イ) バリエーション豊富なメニュー設定。
- (ウ) 個別メニューごとの研修と改善に努めた。
- (エ) 個別リハビリ計画による機能維持・向上に努めた。

(4) 生活環境の充実

- (ア) 施設内外の美化活動は、定期的実施した。

- (イ) 年間計画通りに実施した。
- (ウ) 施設構内の花壇は、四季折々の花を植栽し、季節の風物詩として利用者の心に訴えかけた。

(5) 処遇の知識・技術の向上

- (ア) 職員一人ひとりが自覚をもって、知識と技術の向上に努めた。
- (イ) 各種研修会の報告を職員会、ケアスタッフ会の中で周知。
- (ウ) 介護福祉士・介護支援専門員資格の積極的取得に努めた。

### 3 給食

- (1) 外部委託業者による専門性の高い、利用者主体の食事を提供
  - (ア) 利用者の健康維持を目的とし、嗜好に合わせた形態で食べやすくおいしい食事を召し上がってもらえるように心掛けた。
  - (イ) 食事をしている様子を見たり、聞いたりして嗜好調査の精度を高めた。
  - (ウ) 給食委員会が「食をテーマとする」議論の場として機能していることから「食のサービス」の質の向上に反映された。

### 4 保健衛生

#### 健康管理

- (1) 日常生活動作の維持  
機能低下の防止、寝たきり状態の防止に努めた。
- (2) 異常の早期発見、早期対応  
日常の状態を把握し、視診・聴診・バイタル・訴え等により適切な対応に努めた。
- (3) 定期検診等  
嘱託医の回診や定期健康診断等により適正な健康管理を実施した。
- (4) 24時間の医療連携体制により適切なサービス提供ができた。
- (5) 日常生活支援だけでなく認知症対策や精神的ケア等の支援も実施した。
- (6) 隔離病床を整備し、施設内感染の予防体制を強化した。
- (7) 感染症対策機器を各ユニットに導入した。

#### 環境衛生

- (1) 館内の害虫駆除の実施。
- (2) 日常の清掃作業及び感染症対策の徹底。
- (3) 食べ物やコップ・吸い呑み・寝具等の管理は、各担当が責任を持って実施した。

## 5 職員研修

利用者に対し、生活の場に相応しい処遇を提供し、常に反省と研鑽に努め職員の資質の向上に向けた施設内研修・外部研修への参加を促した。

## 6 会議

職員会・リーダー会・看護職員会・ケアスタッフ会・身体拘束廃止委員会・安全委員会・給食委員会・感染症対策委員会・ケース会・各部会・各小委員会を行い共通認識と処遇の向上に努めた。

## 7 家族及び地域との連携強化

### 家族との絆の強化

- (1) 指定感染症により限定的な面会となったが、精神的安定を図った。
- (2) 誕生会や敬老の日の諸行事等に家族の参加を促し、共に祝福し利用者を中心とする交流の場を設けた。
- (3) 利用者の病院受診や心身の不調の際は、家族に連絡し、出来るだけ付き添ってもらい利用者の精神的不安を軽減し、家族との絆の重要性を認識してもらった。

### 地域の協力と参加

- (1) 地域交流を踏まえた行事活動を各部で計画。
- (2) 地域と密着した施設運営をめざし、地域から PR して貰える施設づくりに努めた。
- (3) 行政・振興会・民生委員・老人クラブ等と積極的に交流し、施設の運営方針を理解してもらった。

## 8 行事

行事計画通り実施できるように努めた。(別紙行事实績参照)

## 9 災害防止

- (1) 「人命の安全確保」を第一として災害防止に努め消防計画に則った訓練を実施。
- (2) 災害時に備え消防署及び地域住民の協力が得られるように連携体制を構築した。
- (3) コロナウイルス感染症対策については、サイエンスに基づく正確な情報を発信し、介護サービスの制限をすることなく適正な感染対策を講じることができた。

10 施設環境整備

(1) 備品設備等、必要なものを可能な範囲で配備した。

11 その他

(1) 垂水市民のニーズに応えられるように努めた。